

令和元年度 第7回「まちづくり会議」概要 鶴来地区

日 時：令和元年6月29日（土） 10：00～11：30

場 所：鶴来公民館3階 第1会議室

参加団体等：町会長協議会、民生委員児童委員協議会、鶴来寿齢会、生活学校、女性の会、子ども会育成会、防犯協会鶴来支部、鶴来青年クラブなど

発言【1】

- ①大国町内、通学路の歩道の設置について
- ②防犯カメラの設置について
- ③空き地を利用した小公園の設置

【市】

①地元の方と協議を重ねていますが、大変難しい状況です。現在、通学時の安全面を考慮し、大国西町の低学年を冬期間、バス通学に変更する方向で検討を行っています。

②令和元年度において、清沢のはっとり坂に防犯灯付きの防犯カメラ1台と鶴来本町商店街に防犯カメラ2台を設置いたしました。

③町内会による、地域住民のためのコミュニティ広場の新設等については、コミュニティ広場整備事業の補助制度がありますので、ご利用ください。

発言【2】

舟岡山墓地の管理と整備について

【市】

現在は、市営墓地ではありませんが環境課で対応しています。電気料や水道料は市で払っており、通常の管理は老人クラブや婦人会に毎年清掃していただいています。旧鶴来町時代の資料もありましたが、（所有者が）特定できない部分があったため、鶴来時代でも最終的には結論が出ず、白山市に引き継がれました。所有者が判明しないので、根本的な解決は難しいですが、将来的にどうしたらいいのか地元、地権者、市が協議していく必要があると考えています。

発言【3】

- ①温泉療養施設の建設について
- ②防災行政無線について

【市】

①現在、蓬萊荘の建て替えについて実施設計を進めています。浴室を拡大し、避難所としての機能も兼ね備えることとしていますが、更に皆様の利用しやすい施設になるよう検討してまいります。

②整備する防災行政無線は、あさがおテレビの音声告知放送に代わるシステムです。町内の行事の案内等の機能も持ち合わせており、防災の戸別受信機が各家につきましたら、現在ある音声告知放送は撤去いたします。撤去のスケジュールや使用方法につきましては、設置時期が決まりましたら順次説明会を開催してまいります。

発言【4】

七ヶ用水周辺の観光ルートについて

【市】

白山市では、鶴来まち歩きマップの作成やエリアサインにより、鶴来地区全体を観光できるよう旅行者に案内しており、観光ガイドが七ヶ用水や古宮公園をガイドできる体制を整えています。

また、H31.3月に作成したウォーキングマップで「七ヶ用水・大水門コース」を紹介しており、七ヶ用水周辺を観光だけでなく、市民の皆さんの健康づくりにも役立てていただきたいと思います。

発言【5】

不要パソコンの貸与について

【市】

現在、市で使用している機器はリースであり、借用期間経過後は返却することとなっております。データの管理上も貸与できるものではありません。運営上必要であれば、一度、女性協議会全体で検討していただきたいと思います。

発言【6】

①防犯灯の設置について

②防犯カメラの設置について

③横断歩道でのスピードの緩和策について

【市】

①防犯灯の設置については、財源に国の交付金を充てているため、必要箇所を年ごとに順次整備しています。町内の防犯灯につきましては、町内でご相談しながら市の方に要望していただきたいと思います。

②平成28年度より、子どもの安全を守るため、犯罪抑止に効果のある防犯カメラを通学路となっている地下道に設置してきました。本年度は20台を通学路等に設置します。今後も警察と相談しながら、危険と考えられる場所に防犯カメラを設置していきたいと考えています。

③ハンプ（車道に設置した凸型路面）につきましては、道路管理者と地域住民が連携し、生活道路の利用者の安全向上を図るために車両の速度を抑制するためのもので、横断歩道の前のスピードの減速には有効であると考えています。

発言【7】

水戸町敷地内旧北陸鉄道軌道敷の除草について

【市】

旧北鉄の軌道敷自体は白山市の所有の土地になっています。市の管理で年2回程度除草をしていますが追いつかないため、地域の皆様方にご協力いただいている状況です。現時点では、これまで以上の管理につきましては難しく、今後は県水事業の進捗を見ながら対応を検討してまいりたいと考えています。

発言【8】

鶴来支所前の花壇の管理（花植え、草刈等）に職員の協力をについて

【市】

市といたしましては、町内会や地域行事に積極的に参加し、地域住民との良好なコミュニケーションづくりを図ることは、これまでも奨励しているところであり、引き続き職員の自発的な参加を促してまいります。

また、各種団体が集まり、地域づくり、花づくりを誰がやるか話し合いを行うことが協働のまちづくりに繋がっていくと考えていますので、これを機会にぜひ声をあげて、他の団体と声を掛け合ったりすることも必要だと思っています。

発言【9】

①横断歩道やセンターラインの修繕について

②廃線の路線敷について

③七ヶ用水のガードについて

④ふるさと納税の納税額と返礼品について

【市】

①センターライン、外側線はリフレッシュ事業として順次対応してまいります。

横断歩道については、公安委員会に要望してまいります。

②「軌道敷は止まるな」等の標識での対応はできないため、県水の送水管の工事の見直しを確認しながら検討していきたいと考えています。

③現場で確認したところ転落ガードが設置されております。しかし、今後も安全確認を行ってまいります。

④平成30年度、ふるさと納税でいただいた寄附金は1億3800万円です。返礼品の一番人気は、糍を使った糍甘酒。そのほか日本酒、お菓子類、餅製品、スイーツケース、美川のふぐの粕漬や糠漬けなどが人気です。返礼品は寄付額の3割以下の地場産品とされており、白山市は地方税法の規定に基づき、ふるさと納税の対象となる団体として、令和元年6月1日、総務省から指定を受けています。

発言【10】

SDGsに関する教育について

【市】

SDGsに関する教育については、各教科等を通して、機会をとらえてこれからの地域学習に取り入れていくこととしています。

今年度、石川県住みます芸人のぶんぶんボウルさんをSDGs推進大使に委嘱し、7月から市内小学校で笑いを交えながら理解を深める内容のクイズ等、普及啓発活動を実施しています。来年度以降もSDGs推進大使を通じて広く普及啓発に努めてまいりたいと考えています。

発言【11】

①清沢町の平等寺川の治水について

②舟岡山の墓地について

【市】

①県には要望をしています。かさ上げ等につきましても、取り付く市道がいくつもあるので効果を期待しにくく、今後も積極的に県に要望してまいります。

②地元が中心となって、地元、地権者、市が協議していく必要があると考えています。また、地元の合意形成が不可欠と考えておりますのでよろしくお願いたします。